

平成29年度 事務事業評価シート(実施計画事業 **経常事業**)

事業の概要	事務事業名	寿学園運営事業					担当部	健康福祉部			
	会計区分	一般会計					担当課	長寿・障がい福祉課			
	事業期間	平成26年度以前		～	平成30年度まで		担当係	長寿福祉係			
	基本施策・展開方向	2 保健・福祉		8 高齢者福祉		1 高齢者の社会参加と生きがいづくりを支援します					
	予算区分	款	3	項	2	目	2	大	2	中	1
	根拠法令・個別計画	小牧市立寿学園設置条例、小牧市立寿学園運営規則									
	目的	何・誰を対象に	65歳以上の市民に								
		どのような状態にするのか	寿学園に参加することにより高齢者の健康増進、一般教養の向上を促し、高齢者の生きがいの場とする。								
	内容(手段) 目的達成のためにどのような事業を実施したか	<p>◆平成28年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市政、交通安全、生活関係の講演や生徒による発表会、プロによる演芸など、年間で11回の寿学園定例会の開催及び年1回の課外学習を実施。</li> <li>定例会における事前準備(契約事務、案内文の作成及び発送、各種講義の依頼、余興・遠足の受付及び関係事務)、当日の運営事務などを行う。</li> <li>・定例会 主に午前は講演、午後は余興(演芸、映画、発表会等)</li> <li>・課外学習 長島温泉等</li> <li>・開催場所 定例会:小牧市民会館 講演回数 11回</li> </ul> <p>◆28年度直接経費の内訳</p> <p>講師等謝礼 240,000円 余興出演委託 1,367,520円 バス借上 7,891,934円 映画フィルム借上 86,400円 その他消耗品費等 912,114円</p> <p>◆29年度直接経費の内訳</p> <p>講師等謝礼 260,000円 余興出演委託 1,370,000円 バス借上 9,000,000円 映画フィルム借上 92,000円 その他消耗品費等 1,047,000円</p>									
	受益者負担	有		課外学習時のみ 3,100円/人							

			単位	H26決算額	H27決算額	H28決算額	H29予算額	
	コスト	費用	直接経費		千円	8,622	10,487	10,498
正職員			従事者数	人	0.25	0.30	0.40	0.35
			人件費	千円	1,407	1,688	2,251	1,969
その他職員			従事者数	人	0.20	0.20	0.25	0.25
			人件費	千円	0	0	0	0
費用合計		千円	10,029	12,175	12,749	13,738		
対前年比		%		121.3	104.7	107.7		
財源	一般財源		千円	10,029	12,175	12,749	13,738	
	国・県支出金		千円	0	0	0	0	
	その他財源		千円	0	0	0	0	

業	活動指標名	単位		H26	H27	H28	H29
	績	寿学園生徒数	人	目標	2,800	2,400	2,350
実績				2,396	2,320	2,294	
	講演回数	回	目標	11	11	11	11
			実績	11	11	11	
業	成果指標名	単位		H26	H27	H28	H29
	寿学園代表行事(課外学習)出席者数	人	目標	—	—	—	—
実績			669	626	659		
	皆勤賞表彰者数	人	目標	—	—	—	—
			実績	176	164	194	
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				

事業の自己評価	平成28年度の実施結果	事業の達成状況	寿学園の定例会11回及び課外学習1回を開催した。 団数 146団 生徒数 2,294人 課外学習 8月23日 8月24日 行き先 長島温泉、お千代保稲荷 参加者数 659人 広報こまきに寿学園の記事を掲載し、周知を図った。					
	事業実施における課題	皆勤賞表彰者数は増加しているが、団数及び生徒数が減っており、生徒数を増やすための啓発や魅力ある講演を実施する必要がある。						
	平成29年度の実施内容	29年度における実施内容や結果見込み	寿学園の定例会11回及び課外学習1回を開催する 課外学習 8月30日 8月31日 行き先 長島温泉、お千代保稲荷					
	平成30年度の事業の方向性	方向性の判定	縮小	対象や手段の絞込み等により、事業のボリュームを縮小すべきもの				
	削減額・削減対象	事務事業評価による額	325	千円	予算区分	9	節	節
	判定理由・削減内容	費用弁償及び普通旅費 毎年、寿学園の理事による先進市視察の研修を1泊2日で行っているが、研修日数を見直し日帰り変更し、費用弁償及び普通旅費を削る。						
	30年度以降の実施内容	生徒数が増えるための啓発や魅力ある講演等を行い引き続き実施する。						

二次評価	方向性の判定	判定理由
	縮小	一次評価のとおり。 平成30年度以降の事業費(一般財源)は、原則的に、平成29年度当初予算の金額から本年度の事務事業評価による額を控除した金額を上限とするとともに、引き続き、効果的・効率的な事業実施に努められたい。